

## 令和5年度 第4回

### 10月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：令和5年10月30日（月） 15:00～16:00
場 所：第1診療棟6F特別会議室
出席者： 委員長 豊嶋英明
副委員長 加知輝彦
委 員 八谷寛、服部一郎、福田昌子、村上健次、篠崎恵美子、平岩勝、櫻井孝、野々川陽子
出席委員数/全委員数： 10人/11人
審議事項
申請課題数：新規申請課題 2件
その他審議事項は特になし

#### 申請課題について

No. 1	<p>受付番号：1747</p> <p>課 題 名：介護老人保健施設における多職種が協働して行うアドバンスケアプランニングの実装の評価(単施設パイロット前後比較試験)</p> <p>申 請 者：西川 満則</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <p>1. 申請書&gt;「6.」、研究計画書&gt;「0.2」、説明書&gt;「1.」において、最初にACPの説明と本研究の目的を、記載内容を統一して明示してください。なお、厚労省は「人生会議」との言葉を一時的ながらACPの愛称とすると記していますのでACPの説明においてこの言葉を含めるのも一方法かもしれませんが。</p>
-------	---

	<p>2. 添付いただいた目標達成スケールに例が示されていますが、この作り方について具体的な説明文を目標達成スケールの後に追加してください。</p> <p>3. 前条件と関連しますが、研究計画書&gt;「0.2」&gt;「目標達成スケールの作成プロセス」&gt;「1.目標の設定」の重みづけは具体的にどのようにされるのでしょうか。</p> <p>利益相反審査結果：非該当で承認</p>
No. 2	<p>受付番号：1750</p> <p>課 題 名：医療社会事業専門員におけるアドバンスケアプランニングの実装の評価(単施設パイロット前後比較試験)</p> <p>申 請 者：小島 秀樹</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画書に、同意の撤回又は拒否への対応方針を追記してください。</li> <li>2. 研究計画書に記載がある研究により得られた結果等の取扱いの内容（個別に説明することはない旨）を、説明書にも追記してください。</li> <li>3. 申請書&gt;「6.」、研究計画書&gt;「1.」、説明書&gt;「1.」において、最初にACPの説明と本研究の目的を、記載内容を統一して明示してください。</li> <li>4. 課題名は、「医療社会事業専門員によるアドバンスケアプランニングの実装効果の評価(単施設パイロット前後比較試験)」に修正してください。</li> <li>5. 研究計画書&gt;「6.」において、「ACPエンゲージメントスケールに含まれる自己効力感と準備性の二つのドメイン別の結果の違い」との記載がありますが、自己効力感と準備性とは具体的にどの項目なのか追記してください。</li> </ol> <p>利益相反審査結果：非該当で承認</p>